

KapWeb (生存率解析ソフト) 10年生存率初集計

手術以外の治療法でも絞り込みでき、10年生存率の算出が可能となった

国立がん研究センター 2016年 1月 19日

生存率データ算定・公表システムであるKapWeb

初公開

2012年10月23日 24万件のデータで 5年生存率を一般の人が検索しやすく公開

第一回 リニューアル

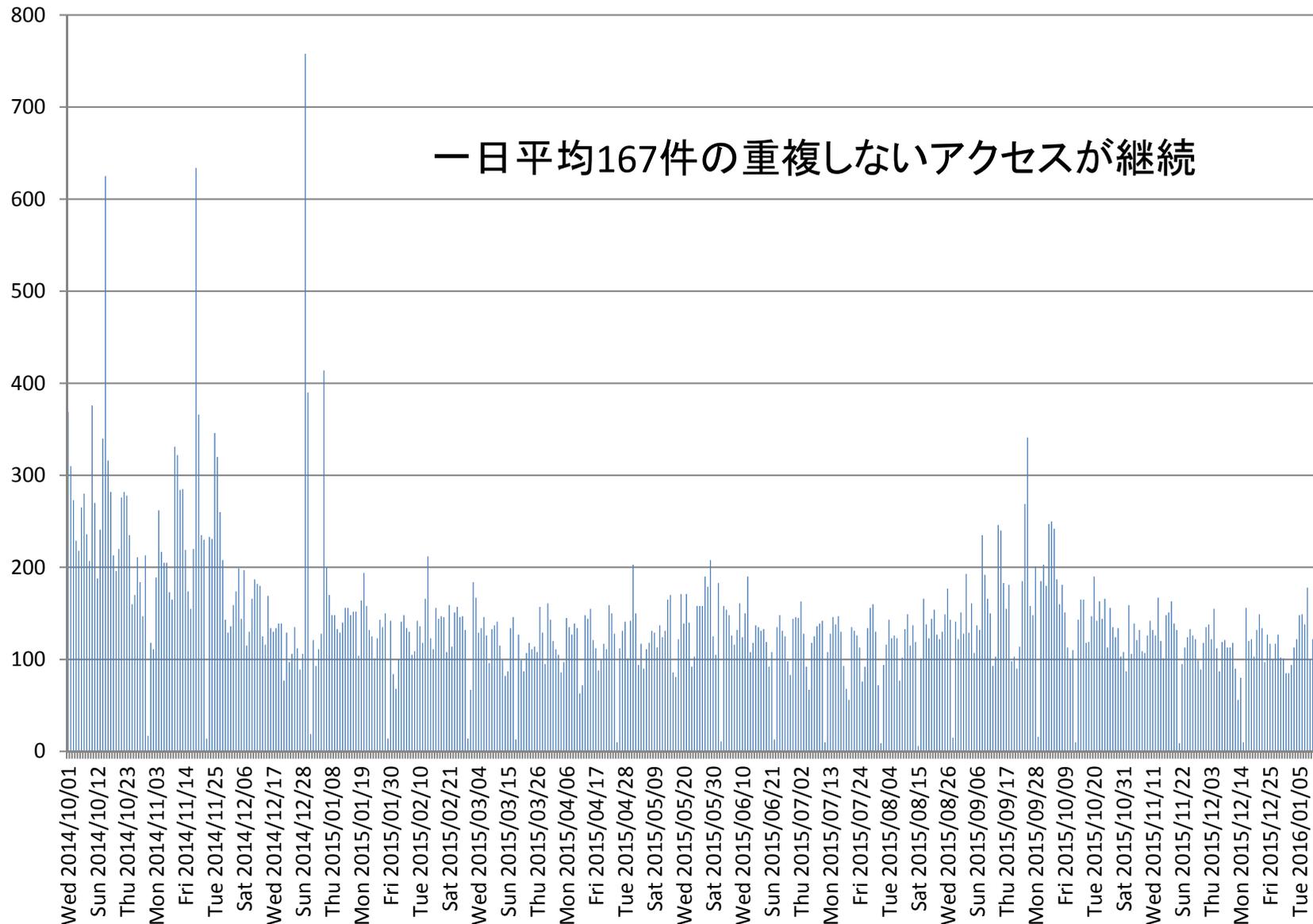
2014年9月19日 30万件のデータで英語に対応し公開
2005年集計で5年生存率68%に（参考 1997年時 5年生存率61.7%）

第二回 リニューアル

2016年1月20日 34万件のデータで更新 6万件のデータで**10年生存率も公開**
最新(2007年)5年生存率 68.9%
1999-2002年症例での10年生存率 58.2% 5年生存率 63.1%

アクセス回数

(公開直後10000件以上のアクセスのあった2014年9月を除く)



1日当たりの異なるIPアドレスからのアクセス数、同一IPからの複数ログは1回とカウント

KapWebの改良と2007年データの公表

- 2007年までの生存率集計の公表を行います。
- 1998年から2002年までの診断症例をもとに10年生存率を算出できます。
- 手術以外の治療法により条件の絞り込みが可能になりました。

全がん協生存率

はじめに

医療の進歩はさまざまな病気を克服してきましたが、未だにがんは人の運命を左右する病気ともいわれています。

確かに、現代では国民の2人に1人ががんにかかる時代、男性では3人に1人、女性では4人に1人ががんでなくなっています。

しかし、その一方でがん患者さんの治療成績も着実に向上しています。がんは不治の病から、つきあう病へ、そして治る病へとなりつつあります。

患者さんをご自分の健康のことが気になります。

どんな病気か、どんな治療を受けるのがいいのか、治る見込みがどのくらいあるのか。また、どの病院の何という先生にかかればいいのか、など気になることはたくさんあります。しかし、患者さんがそのような情報を手に入れることは難しいのが現状です。

見渡せば、新聞や雑誌などのマスメディアには医療記事がいっぱいです。書店では山のように医療関係の本が積んであり、インターネットにはさらにたくさんの情報があふれています。

でも、その中から正確な情報を選び出すことは一般の患者さんにとってはとても難しい作業です。

私たちがこのページを立ち上げたのは、このような患者さんの声に応えるためです。

かんたんデータ画面

全がん協加盟施設の生存率共同調査

KapWeb HOME

English 英語 Japanese 日本語

全がん協生存率

戻る

くわしいデータ画面

2005~2007年までの診断症例で
生存率を算出



がん患者さんはがん以外の病気で亡くなる場合があります。高齢者ではその分生存率が低く見えます。
「相対生存率」とはがん患者さんががん以外の病気で亡くなる分を実測生存率に「かさ上げ」した補正済みの生存率です。
まれに過剰な補正の結果相対生存率が前年より上昇しますが、前年と同じ値であると解釈して下さい。

くわしいデータ 入力画面

全がん協加盟施設の生存率共同調査

KapWeb HOME

English 英語 Japanese 日本語

全がん協生存率

5年生存率: 1997~2007年までの診断症例で算出可能
10年生存率: 1998~2002年までの診断症例で算出可能

戻る

かんたんデータ画面

診断年

1998 - 2002

最新1年

最新3年

最新5年

集計に必要な最低症例数に達しない場合、最新1年→最新3年→最新5年→xxxx年 - xxxx年の項目に全期間を入力して症例数を増やして下さい。
またxxxx年 - xxxx年の項目は開始年→最終年の順に入れて下さい。逆では集計が行われません。

部位 全部位

臨床病期 全病期

年齢 全年齢

性別 男女計

年齢 全年齢

性別 男女計

手術 全症例 外科的 体腔鏡的(腹腔鏡、胸腔鏡) 内視鏡的(ポリープ切除など) 手術なし

治療法で絞り込む 放射線治療 化学療法 免疫・BRM療法 内分泌療法

がんサバイバー生存率は下記の条件で5年生存率から計算出来ます。
たとえば診断から300日生存したがん患者さんの生存率を調べる場合、データの中から300日以上生存した患者さんを選んで100%として
生存率を計算し、結果を「300日サバイバー(生存者)生存率」と呼びます。
サバイバー生存率を入れると表示される年数は5年よりも短くなります。

診断から現在までの生存日数 日

生存率 5年生存率 10年生存率

10年生存率選択ボタン

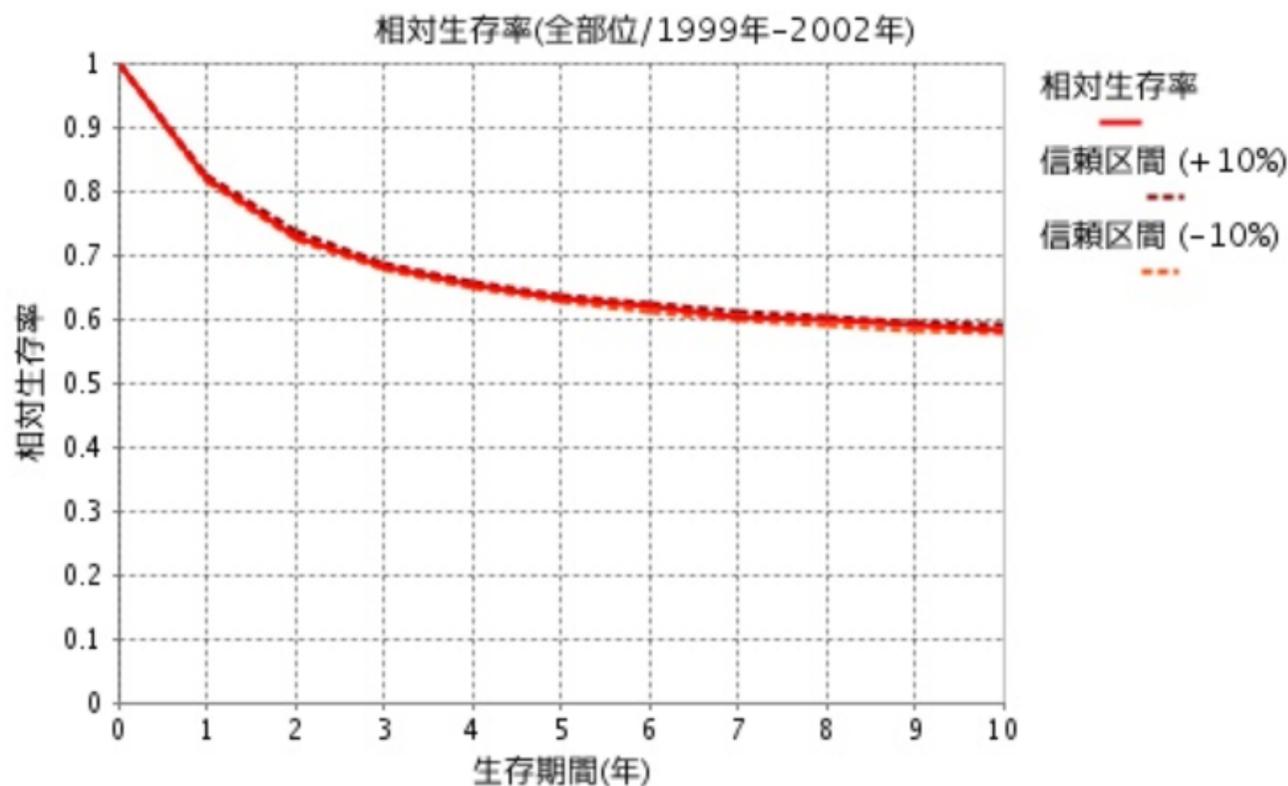
10年生存率を選択する際は、診断年を1998年から2002年の間になるように選択してください。診断年2003以後を選択すると10年生存率は計算できません。

クリア

計算

手術以外の選択項目

くわしいデータ 画面(10年生存率)



症例数:35287件

データ提供施設:

岩手県立中央病院,山形県立中央病院,栃木県立がんセンター,群馬県立がんセンター,埼玉県立がんセンター,千葉県がんセンター,がん研究会有明病院,新潟県立がんセンター新潟病院,福井県立病院,愛知県がんセンター中央病院,滋賀県立成人病センター,国立病院機構大阪医療センター,兵庫県立がんセンター,呉医療センター・中国がんセンター,佐賀県医療センター好生館,大分県立病院

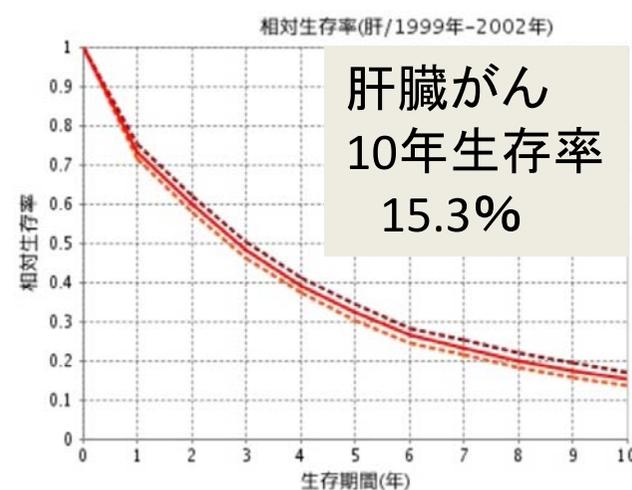
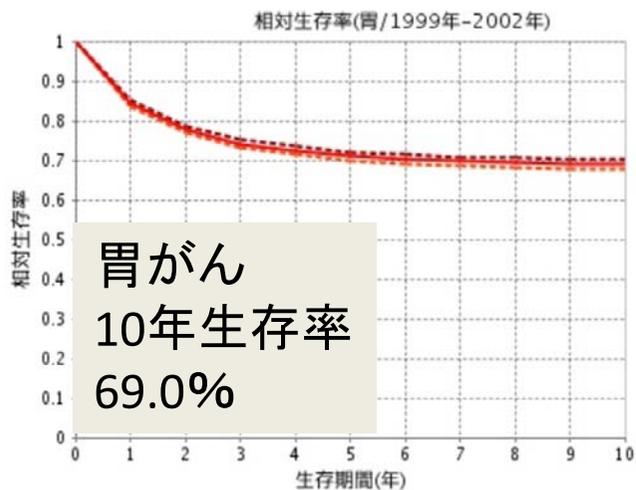
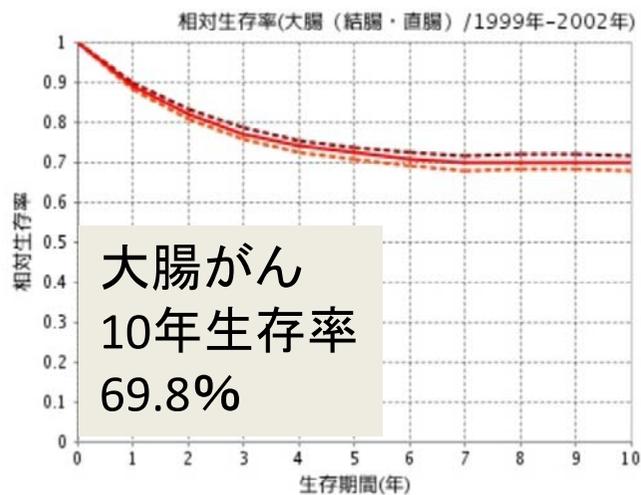
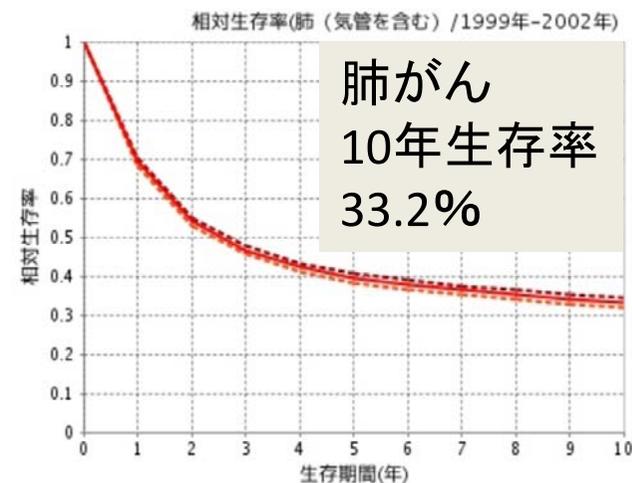
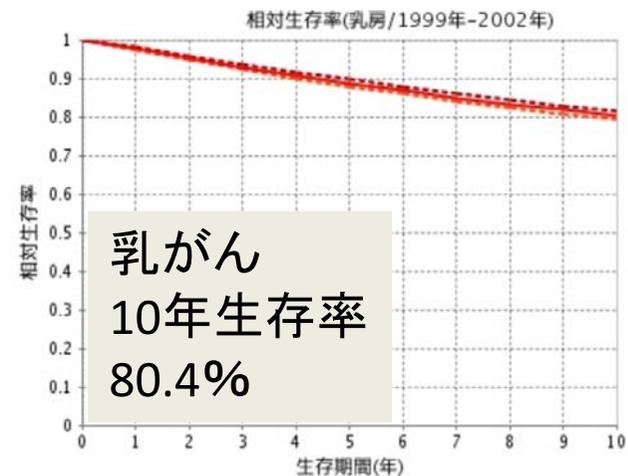
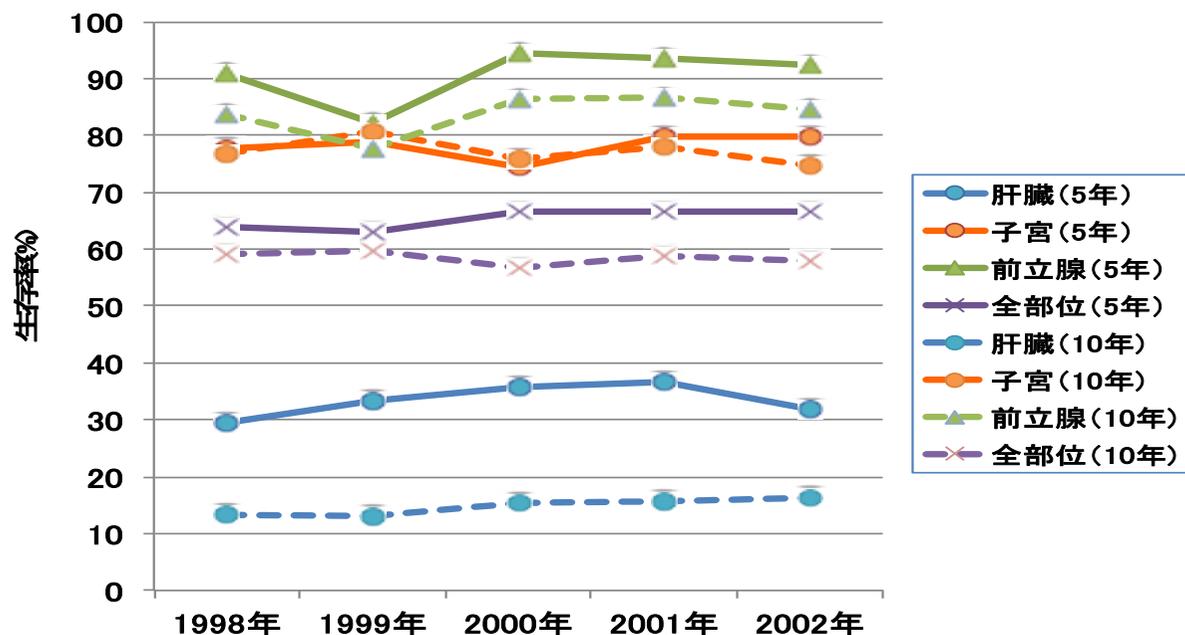
がん患者さんはがん以外の病気で亡くなる場合があります。高齢者ではその分生存率が低く見えます。

「相対生存率」とはがん患者さんががん以外の病気で亡くなる分を実測生存率に「かさ上げ」した補正済みの生存率です。

まれに過剰な補正の結果相対生存率が前年より上昇しますが、前年と同じ値であると解釈して下さい。

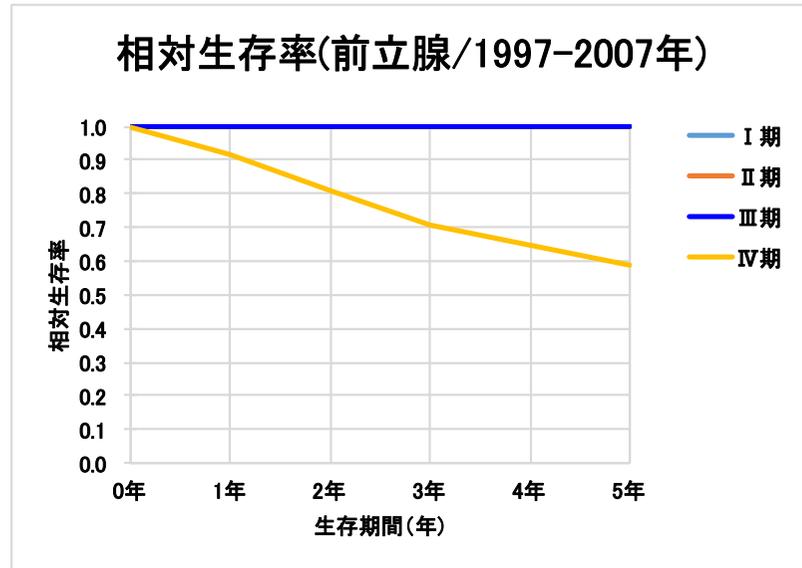
主ながんの10年生存率

5年及び10年生存率の比較

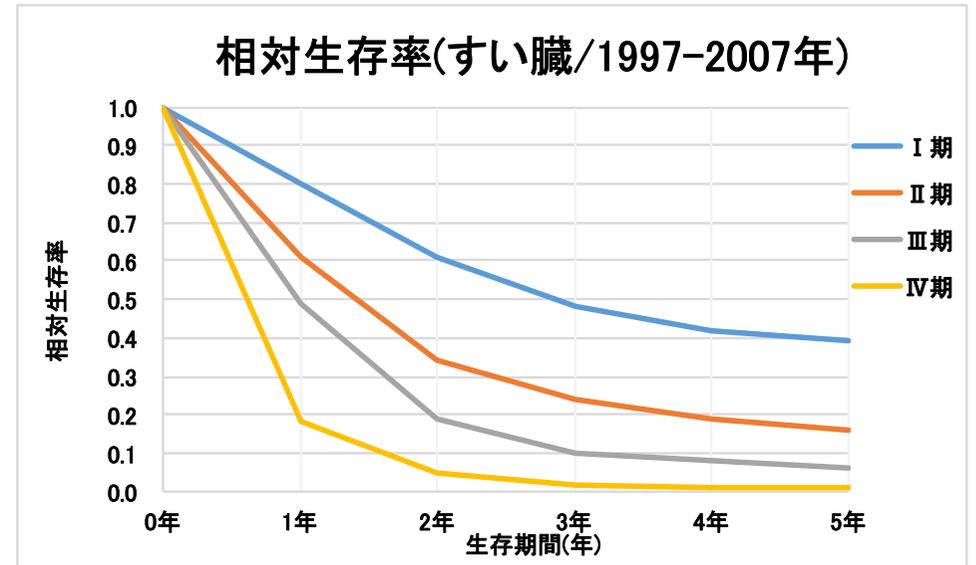


KapWebデータの利用例

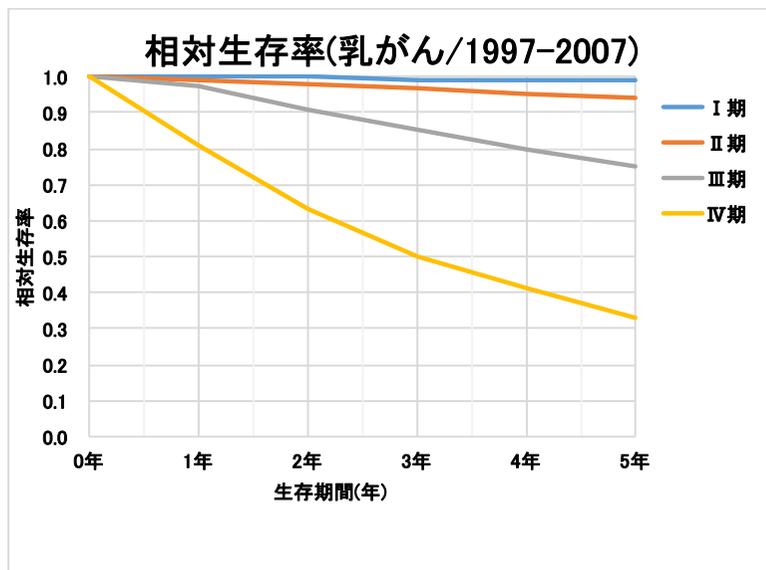
転移が予後を決めるがん



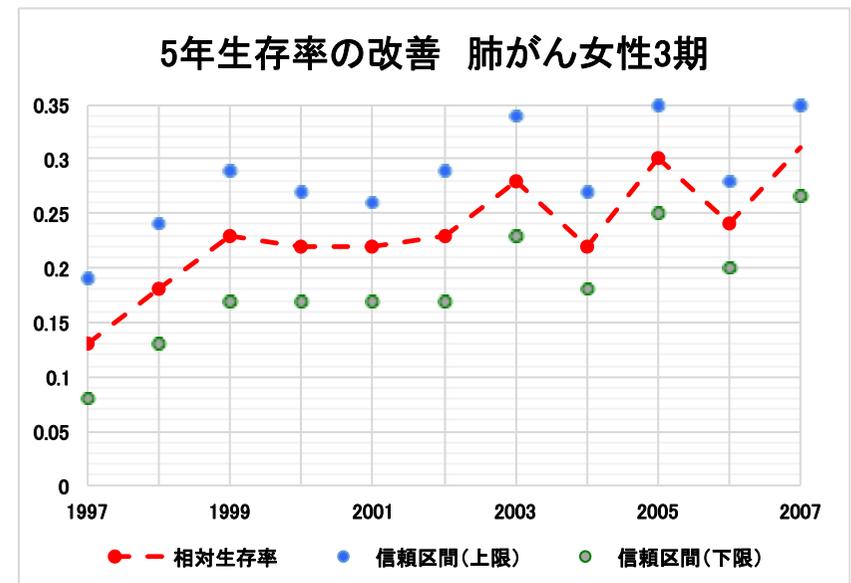
足の速いがん



いつまでも再発するがん

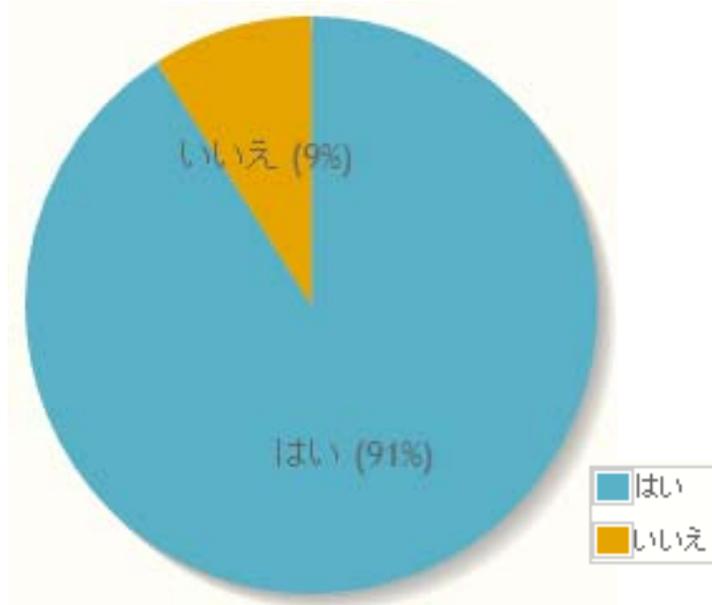


生存率の改善

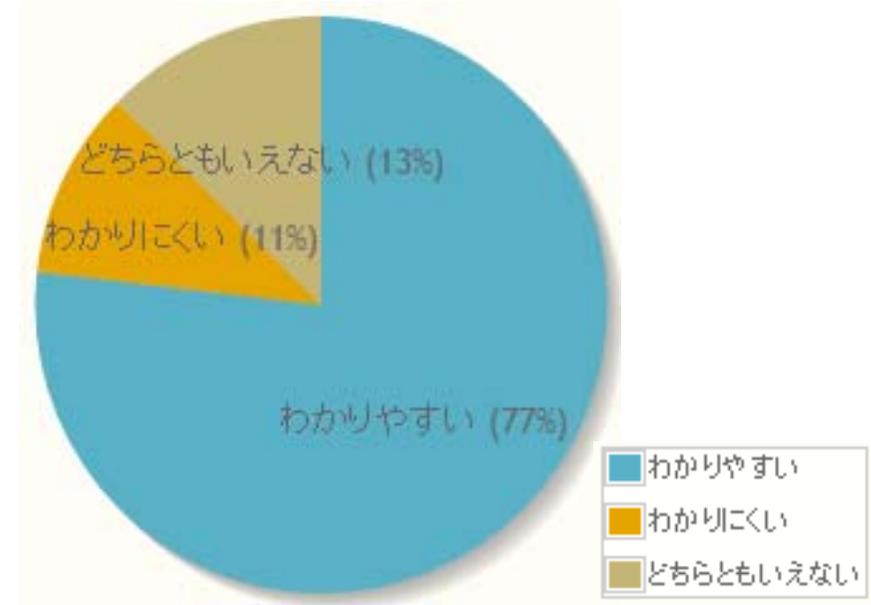


アンケート集計結果(一部)

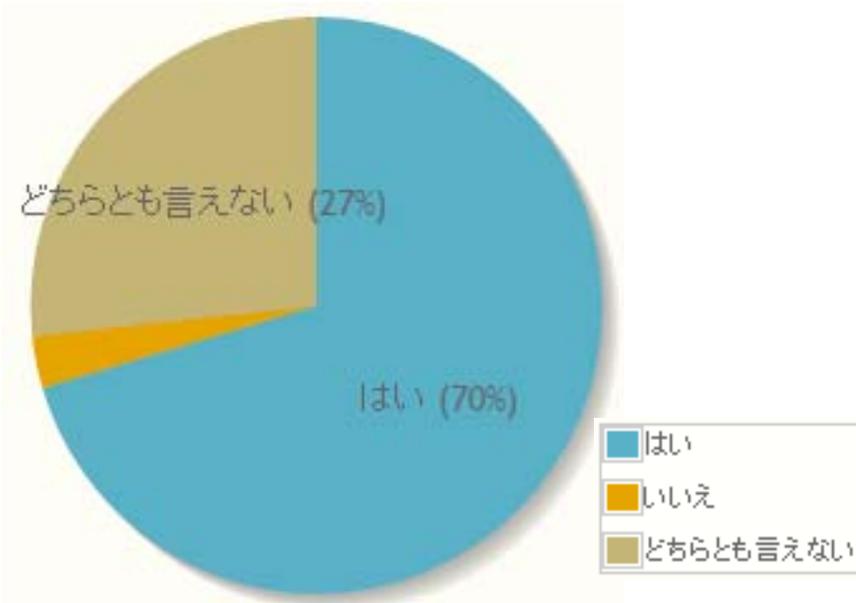
この情報は役に立ちましたか



操作の説明画面はわかりやすいですか



患者の気持ちに添うものになっていますか



自分や家族、知人などの具体的ながんの情報を
入れて確認してみて役に立ちましたか

